

HYPER JAPAN Festival 2023



会 期：2023年7月21日（金）～23日（日）
 会 場：Olympia London
 主 催：Cross Media
 後 援：在英国日本国大使館／(独)日本貿易振興機構（JETRO）／
 (独)国際観光振興機構（JNTO）／(独)国際交流基金／
 (一財)自治体国際化協（CLAIR）／
 (一財)日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）／
 NPO法人映像産業振興機構（VIPO）／(一社)日本動画協会（AJA）／
 (一財)デジタルコンテンツ協会（DCAJ）
 対 象：主にイギリス在住の日本文化ファン
 公式サイト URL：https://hyperjapan.co.uk/festival-2023/

総来場者数（参加数）：22,000人
 内訳：（国内入場者数（参加数）：人 海外入場者数（参加数）：22,000人）
 出展社数：300社
 内訳：（国内出展社数：8社 海外出展社数：292社）
 プレス社数：104社
 内訳：（国内プレス社数：2社 海外プレス社数：102社）

開催内容

ロックダウン前に開催した2019年度に使用した会場に戻り、出展者・来場者共に久しぶりのOlympia LondonでのHYPER JAPANを楽しんだ。準備日を含む4日間すべて長距離列車等のストライキが重なり、遠方からの来場者数がやや減ってしまったものの、ロンドン在住者が雨にも関わらず足を運び、来場者数は昨年10%増の22,000人となった。

会場が広がった分、ケータリングエリアの長蛇の列は緩和されたが、人気なエリアであることには変わりなく、昼時は多くの来場者が日本料理を求めて集まり、丼物や粉もの、そして抹茶スイーツ等を楽しんだ。日本酒の試飲エリアが自社企画のSake Experience以外にもあり、多くのお客様が日本酒を飲み比べて、そして買い物をしていった。来場チケット料金以上の金額設定をしているワークショップ（書道、茶道、生け花、日本酒カクテルづくり、染め物、キツネ面への絵付け）も、当日券はほとんどない程人気のコンテンツとなり、ポップな日本だけではなく伝統的な文化も楽しまれた方が多くいた。

20代、30代が半数を占めるイベントとなり、昨年同様ショッピングを楽しみに来場される方も多く、消費額の平均額は93ポンド（当時の為替で約17,000円）となった。

2023年度の新規取り組みとその成果・特色など

- 土曜日をこれまで2部制で入れ替えをしていたが、それを廃止し、1日券としたことで、午後の部へ入場される方の長蛇の列を無くすことができ、会場周りでの混雑を解消できた。
- 人気のステージコンテンツ（ファッションショー、コスプレショー）を午前中に設置し、午後の人の混雑を避けようと狙ったが、参加者からは元通り午後の部に戻って欲しいという声が多くあがった（2024年に向けての改善点）。

